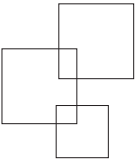


質問表題の右横にある2次元コードを読み取ると、それぞれの議員の一般質問の様子を全てご覧いただけます。



太田強戸スマートインター
チェンジ周辺開発について



創政クラブ 久保田 俊

議員 県が策定した「ぐんま・県土整備プラン2025」で検討事業から着手予定事業に格上げされた県道太田桐生線バイパスの整備について伺います。
都市政策部長 県より、本バイパスの整備により太田桐生地域の医療機関の連携強化が期待され、また、太田さくら工業団地などと隣接していることから、地域産業振興の観点からも重要な路線であると認識していると聞いています。
議員 当該事業を進めるにあたり、周辺住民の理解を得ることが重要であると考えますが、周辺住民への対応状況について伺います。

都市政策部長 県より、令和元年度に実施した説明会とアンケート調査を今後分析した上で、地域と対話しながら計画に取り組みたいと聞いています。
議員 県道太田桐生線バイパスの整備によって、市民、特に周辺住民にメリットがあればよいですが、にぎわいの創出につながる沿道の開発の可能性が低いようであれば、道幅の広い交通

量が増えるだけの迷惑道路になってしまふと考えますが、本市側の周辺の土地開発のインセンティブを持たせるため県に何を求めるべきか、市長に所見を伺います。
市長 大規模な開発ですので、アンケートをもとに周辺住民に話を聴きながら、費用負担の条件などの県への確認はもちろんのこと、本市への効果をしっかり見極めていかなければいけないと感じています。
■その他の質問
・市長の施政方針と市政運営について



指定管理者の運営による「道の駅
おおた」の検証と課題について



市民ファーストの会 神谷 大輔

議員 定例報告会の協議記録の保存期間について伺います。
農政部長 定例報告会の記録は法定保存期間はなく、文書の内容・性質から5年保管とし、期間超過後は廃棄されます。
議員 5年保管後に廃棄ということですが、将来に向けてのチェックができていないかについて伺います。
農政部長 定例会の報告と平成25年度以後の年度報告でチェックができていると認識しています。
議員 運営事業計画に基づく指定管理者との協議やその記録の取り扱いについて伺います。
農政部長 協議については定例会で助言や指摘を行い、記録として概要を残しています。
議員 今後の課題や取り組みについて、所見を伺います。
農政部長 連携を密にし、より良い運営管理が遂行されるよう適宜助言や指導を行い、本市の魅力を内外に発

信する拠点となるよう、さらなる発展を目指していきます。
議員 道の駅おおたのあるべき姿について、市長に伺います。
市長 ドライバーの人たちが安心して休憩でき、本市の特産や魅力を最大限発揮できるような道の駅になればと考えています。
議員 合意形成に向けた協議の記録など、文書保存の見直しについて伺います。
市長 しっかりと適正に、わかりやすく、皆さまにお示しできるように取り組んでいきたいと思っています。



外国人への生活保護支給について



参政党 仁藤 すぐる

議員 外国人に対する生活保護の支給状況について伺います。
福祉こども部長 令和3年度は支給額1億927万2,040円で39世帯56人、4年度は支給額1億1,575万4,601円で44世帯65人、5年度は支給額1億2,525万7,191円で48世帯68人となっています。
議員 受給期間の長期化について、外国人受給世帯のうち、5年以上または10年以上の長期間で生活保護を受けている世帯数について伺います。
福祉こども部長 令和7年3月末で、5年以上10年未満が13世帯、10年以上は10世帯です。
議員 昨今、日本人の生活の困窮も深刻化しており、適正な制度の運用や国への制度見直しの働きかけを積極的に検討していくべきと考えますが、市長の所見を伺います。
市長 生活保護法では生活に困窮する国民を対象に必要な保護を行うこととされており、生活に困窮する外国人

に対しても人道上の観点から国の通知に基づき事務を執行することが適切であると考えています。
議員 人道上大切なこととはいえ、日本では日本人のための政治を行うべきと考えますが、大きな会議の場での問題提起について伺います。
市長 現在は考えていません。
■その他の質問
・市庁舎への喫煙所設置と分煙環境整備について
・太田市環境、景観等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例と今後について



平和祈念展示資料室を活用した
取り組みについて



公明党 前田 純也

議員 学習文化センター内に開設された平和祈念展示資料室は常設展示であり、世代や地域の垣根を取り払い平和への思いを共有する場所としての活用などが考えられますが、活用方法や周知について伺います。
教育部長 平和祈念展示資料室の展示品は児童生徒が戦争や平和の尊さを自分事として考える上で優れた教材であると考えますので、校長会などを通して学校から家庭に周知し、来場を促したいと考えています。
議員 平和祈念展示資料室をどのように活用し、平和の尊さを後世に継承していくかが今後の課題となると感じており、市長には「太田市遺族会 戦争を語り継ぐ会」の会員と直接対話する機会を設けてほしいと考えますが、市長の所見を伺います。
市長 戦争体験を次世代に語り継ぐことは非常に大切なことだと認識していますので、ぜひ貴重な体験を聞かせていただける機会を設けていただき

たいと考えています。
議員 平和都市宣言は核兵器廃絶の文言が明記されている極めて重要な宣言であり、平和祈念展示資料室の入口に掲示することで平和への意識向上にもつながると考えますが、常設掲示について所見を伺います。
市長 市民だけでなく、多くの来訪者に本市の平和都市宣言を理解してもらう機会となりますので、早急に掲示したいと考えます。
■その他の質問
・今年度における防災対策の取り組みについて

